

ASNOVA

CORPORATE PROFILE

会社案内

なぜ、

社名に「明日」が
あるのだろう？

ASNOVA

明日の場

「明日」を
生み出す営みは、
足場の上で
始まった。

2500年前、ピラミッドの建設時、
すでに足場が使われていたと言われています。
以来、新たな建造物の誕生は、足場が支えてきました。

なぜ、

ASNOVAは
存在するのか？

ASNOVAのパーパス（存在理由）

「カセツ」の力で、
社会に明日の場を創りだす。

「カセツ」

仮説 × 仮設 × 挑戦

「仮設」機材である足場。

それは「仮説」と「仮設」、ふたつのカセツでできていると
ASNOVAは考えます。

まず「仮説」を立て、それを「仮設」で検証しながら、
何事にも自由に、軽やかに挑む。

このASNOVA独自の挑戦のスタイルを、
私たちは「カセツ」と呼んでいます。

なぜ、

足場の「レンタル」

なのか？

循環型社会への貢献を目指して。

「レンタル」とは、有限な資源を
繰り返し「再利用」するビジネスモデルです。
大量生産、大量消費型経済社会から
循環型社会への移行に貢献し、
地球環境の持続可能性だけでなく、
企業の事業活動の持続可能性も高めます。

なぜ、

保有量、拠点数に

こだわるのか？

「レンタル」の普及こそ、
「明日の場」創りと信じて。

ASNOVAは「レンタルビジネス」を通じて
循環型社会実現への貢献を目指しています。
それがひとつの「明日の場」創りに
つながるとの私たちの信念です。

ASNOVA 全国事業拠点

2024年3月現在

● 営業所 5 拠点

仙台営業所
東京営業所

名古屋営業所
福井敦賀工事センター

大阪営業所

● センター 36 拠点 (パートナー拠点を含む)

宮城仙台センター

愛知弥富センター

京都京田辺センター

栃木上三川センター

愛知一宮センター

大阪和泉センター

千葉野田センター

愛知みよしセンター

大阪羽曳野センター

千葉四街道センター

岐阜多治見センター

兵庫三木センター

神奈川藤沢センター

福井鯖江センター

岡山倉敷センター

神奈川相模原センター

佐賀鳥栖センター

埼玉東松山センター

埼玉蓮田センター

埼玉ふじみ野センター

静岡富士センター



※ 直営機材センターのみ記載しています




なぜ、

「近くで、
いつでも、安心」な
供給体制づくりを
急ぐのか？

**住宅・マンションの「老朽化」という
社会課題に向き合うために。**

築30年以上のマンションの戸数は、2020年対比で
2030年には1.7倍、2040年には2.4倍になるとの予想があります。
安心の住まいのために、修繕インフラの整備が急がれます。



**増加する自然災害の
復旧と復興に貢献するために。**

日本各地で増加する自然災害に対する備えは社会問題となっています。
全国どこでも、有事には速やかな復旧、復興支援が可能な
体制づくりが求められています。

なぜ、

**新商品の開発に
取り組むのか？**

**人材不足、工期短縮といった
お客様と社会の課題に応えるために。**

レンタルビジネスで掴んだお客様と社会のニーズに応え、
部品点数の半減と軽量化により施工性を向上させた
くさび緊結式次世代シート朝顔「SpeeK」を開発しました。

「足場がなければ始まらない」
から、

新しいものを生み出す、
新しいものへ生まれ変わらせる。
社会の課題に向き合い、
お客様と社会の持続的成長を支え続ける挑戦へ。

「ASNOVAがいなければ始まらない」
への挑戦。

ASNOVAがこれからの社会に必要とされ続けるために、
ASNOVAだから取り組む、
ASNOVAがやらねばならない、
既成概念にとらわれない新たな挑戦へ。

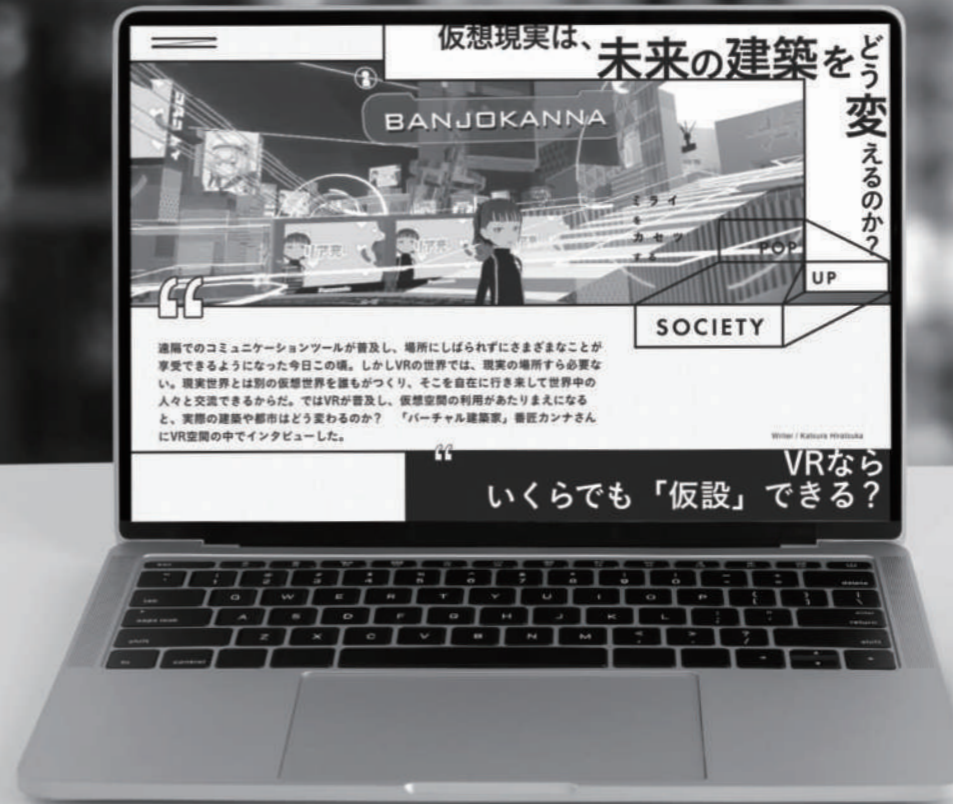
なぜ、
POP UP
SOCIETYを
つくったのか？



足場業界が抱える深刻な人手不足に対して。

ASNOVAはwebマガジン「POP UP SOCIETY」を立ち上げ、足場のユニークな活用法の紹介など若い世代に足場を知ってもらう取り組みを展開しています。

※これは2022年4月よりオウンドメディア「カケルバ」に統合され、ASNOVAが社会課題に取り組むトピックスを公開していきます。



なぜ、

足場は街へ
飛び出したのか？

足場と「カセツ」の可能性を広げる
多様な取り組みへ。

建設現場から飛び出した足場の可能性、
「カセツ」の価値を、世の中に「見える化」していくのは
ASNOVAの使命と考えています。

ストリートスポーツ「パルクール」とのコラボ、
足場を使った一般のお客様の生活に
役立つ商材の提案など、まだ見ぬ広がり
私たちASNOVAもワクワクしています。



なぜ、

ASNOVAには
「チャレンジの場」が
あるのか？



新しい事業への挑戦をサポートする。

ASNOVA CHALLENGE SYSTEM

ASNOVAの成長には、
社員一人ひとりの自発的なチャレンジが欠かせません。
だからASNOVAには新規事業の創出を目指す社員の
挑戦を支援するシステムがあります。
自らの意思で行動し、新しいことに挑む若い力を
起案から事業化までサポートします。



なぜ、

「学生」に戻るのか？

外での「体験」を

求めるのか？

新たな目標へ挑むための「学び直し」。

ASNOVA Recurrent

経営幹部や起業家を志す社員、
業務のスペシャリストを目指す社員のため、
外部教育機関での学びをサポートします。



実践体験から能動性と思考力を身に付ける。

AMP! (ASNOVA -Metamorphose-program-!)

自分で考え、行動し、実体験から自己変容を目指す。
領域を超えて新しい価値創造に挑める人材を育成します。

なぜ、

ベトナムを

目指すのか？

海外での足場事業の確立と成長へ。

まずベトナムから、アジアへ。そして世界へ。

著しい成長を遂げるベトナムにおいて仮設機材のレンタルを開始します。

国内で培ったノウハウを生かし、ASEAN進出への足掛かりとします。

さらにその先に、世界の市場を睨みます。

パーパスを軸に、既成概念にとらわれず挑み続ける。

足場には、社会を支え続けてきた長い歴史があります。

2500年前、ピラミッドが造られた際、既に足場が使われていたと言われています。

私たちの事業は、新しいものを建てるにも、社会のインフラ整備にも、なくてはならない仕事です。

ASNOVAは、足場を「レンタル」する事業を主としています。

「レンタル」とは言うまでもなく、必要なものを必要なときにだけお貸しするビジネスです。

資源の再利用を繰り返すレンタルは、大量生産、大量消費のサイクルから抜け出し、循環型社会に貢献できる
いまの時代に注目すべきビジネスモデルであると捉えています。

私は、ASNOVAがこれからの世の中に必要とされ続けるためには、

事業を通じてこうした社会的意義のある価値を生みだし続けることが何より大切と考えています。

ASNOVAとは「明日の場」。「明日の新たな価値を生み出す場所」のことです。

そして、私たちはASNOVAのパーパス(存在理由)をこう決めました。

“「カセツ」の力で、社会に明日の場を創りだす。” カセツには「仮説」と「仮設」の意味を込めています。

ふたつのカセツを生かしながら、自由に、軽やかに挑むことを私たちは「カセツ」と呼んでいます。

このパーパスを軸に既存事業も、新規事業も、既成概念にとらわれることなく、

ASNOVAだから取り組む意味のある、オリジナルで新たな価値創造に積極的に挑んでいきたいと考えています。

「足場レンタルの会社」と言えば、まずASNOVAが思い浮かぶ。

そして、ASNOVAと聞いたら、「常にチャレンジしている会社」と思ってもらえる。

そんな連想の実現を社員一丸となって目指していきます。

株式会社ASNOVA 代表取締役社長 上田桂司

パーパスを起点とする ASNOVA の理念体系

Purpose パーパス

ASNOVAは何のために存在するのか。
ASNOVAの「存在理由」。

「カセツ」の力で、
社会に明日の場を創りだす。

Values バリューズ

パーパスを体現するために大切にしている価値観。
パーパスを体現するために、
日々の業務の中で常に心掛ける具体的、
実践的な行動指針。

お客様と社会の想いを感じ取ろう。
一歩先を見よう。明日を思い描こう。
慣習を疑おう。既成概念から飛び出そう。
決めるスピードと動くスピードで前へ出よう。
まずやってみよう。あきらめずにやりとげよう。
個を磨き、共に成長し続けよう。
時代を先回りして変化し続けよう。

Slogan スローガン

パーパスのエッセンスをシンプルに表現したもの。
コーポレートスローガンとして、企業理念を社内外へ
シンプルにメッセージするもの。

明日の場という未来へ。

Story ストーリー

パーパスの背景にあるASNOVAの「信念」。
パーパスに込められたASNOVAの「想い」。

古代エジプトのピラミッドも。日本の奈良の都の寺院たちも。
歴史を建てる人類の営みは「足場」の上で始まったと言われる。

足場とは「仮設」の機材。
それは「仮説」と「仮設」、ふたつのカセツでできている、
ASNOVAはそう考える。目指すものは突然には生まれない。
「仮説」と「仮設」を繰り返し、一歩ずつカタチに近づく。
ふたつのカセツを生かし、自由に、軽やかに挑むことを、
私たちASNOVAは「カセツ」と呼ぶ。

「足場がなければ始まらない」。
新しいものを生みだす、新しいものへ生まれ変わらせる。
その挑戦の足がかりとして、支える拠りどころとして、
足場が時代の進化の傍らにあり続けたように。
私たちASNOVAは、
お客様と、社会の成長に必要とされ続けるために、
「カセツ」の可能性を広げる最前線へ進む。

ASNOVAとは、「明日の場」。
明日の新たな価値を生みだす場所。
私たちは誰よりも足場本来の力にこだわり、
既成概念にとらわれず挑み、
お客様と社会の成長をいかなる変化の中でも支え続ける。
そしてその先に、「カセツ」の力で、
社会にたくさんの「明日の場」を創りだしていく。
ASNOVAは、そのために存在する。

**なぜ、
ASNOVAは、
それに「挑む」のか？**

すべてはパーパスを起点に。

ASNOVAだからやる意義のある取り組みに、果敢に挑んでいきたい。

そして、そこから私たちはどのような価値を生みだしていけるのか。

持続可能なASNOVAの成長をどう創りだしていけるのか。

「明日の場」の創出は、ASNOVAの未来そのもの。

私たちは、その決意のもと、挑戦し続けていきます。

会社名／株式会社 ASNOVA (ASNOVA Co.,Ltd.) 住所／〒453-6126愛知県名古屋市中村区平池町四丁目60番地の12グローバルゲート26階
電話番号／052-589-1848 FAX番号／052-589-1849 設立／2013年12月24日 代表者／代表取締役社長 上田 桂司
建設業許可／国土交通大臣許可(般-26)第25548号 保有許可証／愛知県公安委員会発行 古物商許可証 第541051804100号